

広報

むらた

2017

6

No. 524



特 集

まちの消防団

～大好きなまち、

そして大切な人を守るために～



特集 まちの消防団

～大好きなまち、
そして大切な人を守るために～

皆さんには、消防団やその活動をどのくらい知っていますか？

消防団」という言葉は知っていても、実際にどんな方が入団してて、どんな活動をしているのかわからないという方が多いのではないかでしょくか？

今月はわがまちの消防団を特集します。

消防団員と消防署職員は、火災現場で互いに協力し合って活動しています。

消防団の活動内容

11月
秋季全国火災予防運動
11月9日から15日まで、火災の発生しやすい時期を迎え、夜警や広報活動などの防火活動を強化する時期

7月
新任消防団員研修
消防署員の指導のもと、規律訓練や敬礼など、基本動作の指導が行われる。

5月
消防演習
部隊訓練、放水訓練、喇叭(ラッパ)吹奏訓練等、日頃の訓練の成果を披露する。

4月
班長会議
団長、副団長、分団長等が出席し、1年間の各行事の確認等を行う。

消防団の主な活動



平成29年4月現在、総員250名

●第3分団
(菅生地区)
●第4分団
(足立地区)
●第1分団
(村田地区)
●第5分団
(小泉・薄木地区)
●第2分団
(沼辺・閑場・沼田地区)

村田町消防団員募集！

町では、地域の住民の生命・財産を守る消防団員を随時募集しております。

1. 村田町の区域内に居住し、又は勤務する者
2. 年齢18歳以上の者

3. 志操堅固でかつ身体強健な者

以上の要件を満たす方は、町の安心・安全のため、そしてこの町に暮らす人々の笑顔を守るためにぜひチカラを貸してください。



「こころの輪」を大切に～消防団長の思い～



村田町消防団
団長 高山 平八さん

いまから53年前に同じ地区の先輩から誘われて入団しました。消防団に入って良かったことや大変だったことは、入団してからこの長い年月の間、いろいろありました。しかし、「守られる」のではなく「自分たちのまちは自分たちで守る」という思いで活動していくなかで、皆さんと一緒に協力し、地域を守る実感があります。

また、消防団員の年齢層は幅広いですが、消防団の活動をとおして、現代には少なくなっている、世代を超えた交流があります。災害現場では、互いに協力して活動することが重要なため、日頃から「こころの輪」を大切に団員同士の団結が図れるよう努めています。

近年、局地的な豪雨や台風などによる災害が日本各地で頻発しており、住民の生命、身体および財産を災害から守る地域防災力の重要性が高まっています。今後も、このまちの安全・安心のために活動し、地元に精通した行動力のある団員が一人でも多く入団してくれることを願っています。

平成二十三年に発生した東日本大震災などの大災害、また局地的な地震や台風・豪雨などによる災害が、近年日本各地で多発し、地域における防災の重要性及び必要性が高まっています。
しかし、少子高齢化が進み生活の多様性の変化に伴って、地域防災の活動を進める担い手の確保に困難が生じています。
「自分たちのまちは自分たちで守る」ためには、今後もますます消防団を取り組みが、喫緊の課題となっています。

現状と課題

また、消防団員は普段は自営業や会社員など、それぞれの仕事に就きながら、災害発生時には、自宅や職場から現場に駆けつけ、消防活動を行う非常勤特別職の地方公務員です。

3月

2月

1月



- 春季火災予防運動
- 3月1日から7日まで、秋季全国火災予防同様、予防消防活動を徹底する時期。
- ・防火広報パレード
- ・かまど検査、水利点検
- ・合同分団訓練

- ・防火広報パレード
- ・かまど検査・水利点検
- ・機械器具点検

合同安全祈願式

新年を迎える、1年間の無火災・無災害を記念する式。

がんばってます！女性消防団員

～より身近な存在の消防団員を目指して～（話：伊藤 和子さん）

現在、村田町女性消防団員は20代から60代のメンバーで構成しています。

平成5年に開催された、第9回全国婦人消防操法大会に、村田町消防団が出場することになり、当時菅生地区の婦人防火クラブに入っていたこともあって、大会出場候補として声をかけていただいたことが、入団のきっかけでした。

私たちの主な活動内容は多岐にわたりますが、地域の会合などでは絶対火事を出さないように声掛けするほか、心肺蘇生法等の救命救急講習や火災予防の啓発、また消防関係式典でのお手伝いも行っています。

入団してみて、特に辛かったことや大変なことがあったというよりは、入団したからこそその出会いや情報交換ができ、人と人のつながりを感じています。

今後は、女性消防団員の募集PRに努め、活動の幅をもっと広げていきたいと思っています。消防団員に興味のある積極的な女性の方、ぜひ私たちと一緒に活動しましょう！



消防団の歴史

始まりは江戸時代

現在の消防団の歴史は、江戸時代中期の享保3年（1718）、8代将軍徳川吉宗の時代の「町火消」までさかのぼります。都市の繁栄に伴い、「火事と喧嘩は江戸の華」といわれるほど、火事も頻繁に発生しました。江戸時代、武家による火消は武家を守るのが中心であったため、町屋を守るために、町人によって編成された組織が、町火消で名高い「いろは四八組」を設置させたことが、今日の消防団の前身であるといわれています。

◆明治時代

明治時代には、町火消は東京府に移管され、明治5年（1872）に「消防組」に改組されました。

その後、政府は消防制度を全国的に整備して効率的な消防組織を育成するため、明治27年（1894）年に「消防組規制」を制定し、消防組を府県知事の管掌として全国的な統一を図りました。

◆大正時代

消防組は、国内治安を担当する警察の補助的な役割も果たしながら、急速に整備されました。

東京と大阪にのみ常設されていた消防組織は、大正8年（1919）には京都市、神戸市、名古屋市、横浜市の4都市にも公設消防署が設置されました。

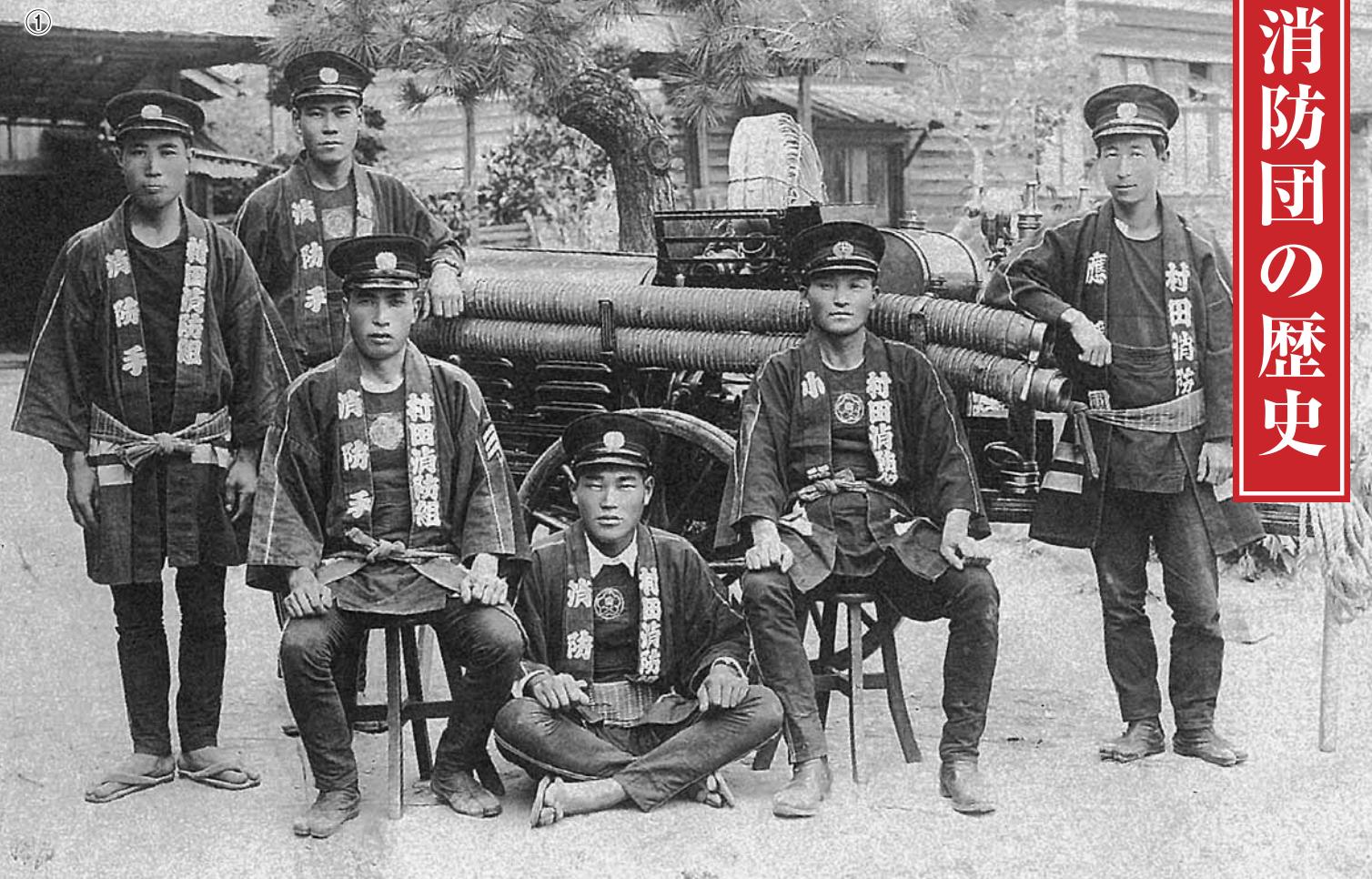
◆昭和時代

昭和14年（1939）「警防団令」が公布され、これにより、明治以来の消防組は解消し警防団として発足。警察の補助機関として、従来の水火消防業務に防空の任務を加えられました。

昭和22年（1947）の消防団令により、従来の警防団は解消され、昭和23年に消防組織法を施工し、現在のような自治体消防のもとでの消防団の仕組みが整いました。

村田町消防団の歴史

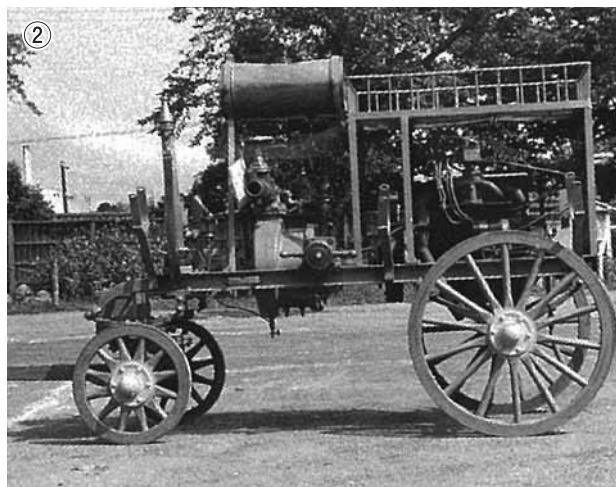
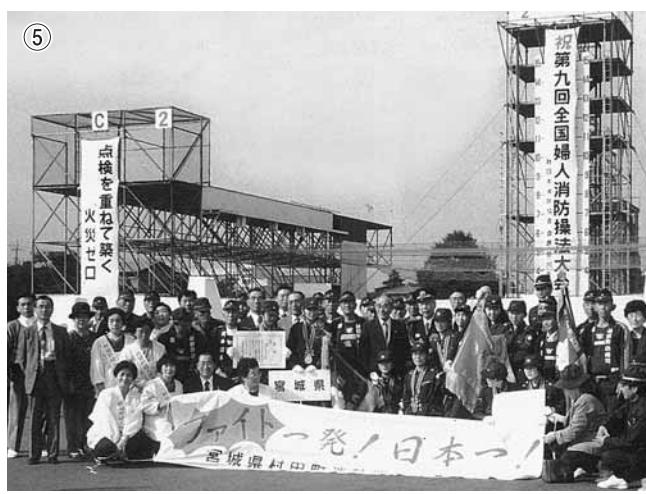
本町の消防団の歴史は、明治7年4月に村田郷に消防組が結成されました。隣接の町村の中で、いち早く組織と当時の最新の機動力を装備しており、



- ① 昭和7年にガソリンポンプが配備された
- ② 大正10年に手挽きガソリンポンプが配備された
- ③ 村田高校で消防演習



- ④ 塩内公園グラウンドで消防演習
- ⑤ 平成5年に村田町婦人消防隊が全国優勝



本町だけではなく他市町村の有事の折にも活躍しました。町村制を経て、明治27年に富岡村、大正5年に沼辺村にも消防組が結成されました。昭和2年には、町内49ヶ所に消火栓を備え付け、これにより消防力が飛躍的に充実するようになりました。昭和22年の消防団令の発布に伴い、昭和23年3月に新しい消防団が組織され、同月に沼辺村と富岡村にも消防団が発足したことに始まります。その後、平成5年には婦人消防隊が発足され、同年10月に行われた全国婦人消防操法大会において、宮城県代表の村田町婦人消防隊が優勝し、堂々日本一に輝きました。

婦人防火クラブの活動

村田町の婦人防火クラブは、「火事を出さない出させない」を合言葉に、昭和48年に結成し、昭和58年には婦人防火クラブも結成され、平成29年4月現在、町内に2,314人の方が加入しており活動しています。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という信念と連帶意識の下に、火災や災害に強い安全な町づくりに向け、婦人防火クラブは必要不可欠な存在です。

婦人防火クラブは、平常時においては講習会や研修会、火災予防に必要な知識や技術を習得するための活動及び防火啓発など、積極的な活動を行っております。



消防団活動のバックアップに向けて

消防団活動に協力している事業所に対し、消防防災体制の充実強化を図ることを目的に、消防団協力事業表示制度実施要項が策定されました。認定基準は、

- ①従業員の3人以上が消防団員として入団し、従業員の消防団活動について積極的に配慮しているとき。
- ②災害時等に事業所等の資機材等を消防団に提供するなど協力しているとき。
- ③消防団活動に協力し、地域の消防防災体制の充実強化に寄与しているなど

事業所からの申請や関係者からの推薦で審査が行われ、消防団に協力していることが認められた事業所には表示証が交付されます。詳細については左記までお問い合わせください。

【問】総務課 防災班 83-2111



元

気で豊かなまちへ まちづくり村田開所



四月十七日、株式会社まちづくり村田の開所式が行われました。重伝建地区の中心部（旧せきばや）に事務所を構え、住民が自由に使用できる貸しスペースも完備されています。観光案内所の運営を中心に、蔵の町並みにて空き家・空き店舗の活用、移住・定住促進事業及び新規商品開発・販売などの事業を展開し、まちづくりを住民と協働して取り組む会社を目指します。

い

つまでもお元氣で 伊戸さださん百歳に



五月一日、伊戸さださん（荒町）が満百歳の誕生日を迎えました。誕生日当日は、佐藤町長、大沼町議会議長が自宅を訪れ、ご家族の皆さんとともに長寿を祝いました。さださんは、毎日の食事を楽しみながら、週二回のデイサービスを楽しみに穏やかに過ごされています。さださん、これからもお元気で長生きしてくださいね。

は

じめよう！ 公園で健康づくり



四月二十一日、塩内公園で健康遊具を使った運動講座を開催しました。基礎的な使い方や応用編、正しい歩き方など教わりました。参加した皆さんからは、「使い方が分かつて良かつた」、「使わないのはもつたない」、「次はお友達と参加したい」などとの感想が聞かれました。健康遊具の運動プログラムをまとめた『健康遊具使い方ガイドブック』を希望する方へ配布しますので、地域包括支援センターへお問合せください。

今

年で20回目開催です 「むらた町家の雛めぐり」



三月二十五日・二十六日に蔵の町並み通り（重要伝統的建造物群保存地区ほか）、村田町歴史みらい館で「むらた町家の雛めぐり」が開催されました。かつて村田町では、雛まりの時に子どもたちが各家々を巡って、雛人形を見せてもらう「お雛見」という風習があり、これを蘇らせた行事が「むらた町家の雛めぐり」です。享保雛や古今雛、つるし雛などさまざま雛人形が飾られ、訪れた人をお迎えしました。

新

生活に期待を膨らませて 町内で入園・入学式



暖かい春の日差しに包まれ、桜の花も開花した四月上旬、町内の保育所、幼稚園、小・中学校で入園・入学式が行われました。

四月十一日第二小学校では十六名の生徒、第一中学校では五十八名の生徒が入学式を迎えるました。



四月十九日、村田保育所で火災を想定した避難訓練を行われました。保育所では毎月定期的に避難訓練を実施し、園児たちと協力した備えに努めています。

今回の避難訓練は、火災が発生した想定で行われ園児たちは先生の誘導にしたがって、口元を手で覆いながら教室から外へ避難しました。



▲村田第二小学校



▲村田小学校

押

さない！走らない！ 村田保育所避難訓練

五月二十日、町内各小学校で子供たちが元気に活躍しました。

利に向けて全力で！ 運動会開催!!



鳥

獣被害を防止! 対策実施隊辞令交付式



四月十日、村田町鳥獣被害対策実施隊に町長より辞令が交付されました。実施隊はイノシシなどの鳥獣による被害を防止・軽減するため、村田町鳥獣被害対策実施隊条例に基づき、平成二十八年度から設置されていました。

今年度は二十三名が任命され、一年を通して捕獲、追払など活動を実施していました。

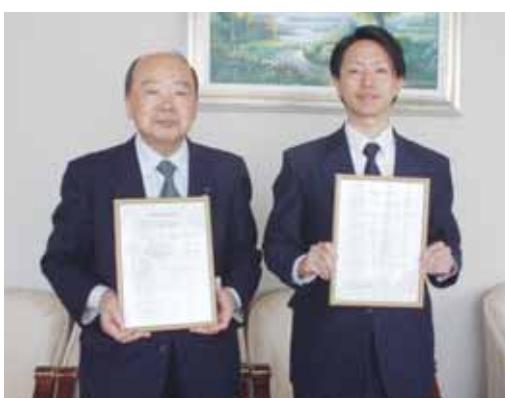


三月二十一日に、村田町と町内で郵便物の配達を実施している四つの郵便局との間で「村田町における道路等危険箇所及び廃棄物等の不法投棄発見時の対応に関する協定」が締結されました。

この協定は、郵便配達などの業務中に道路の亀裂や、不法投棄と思われる廃棄物を発見した場合などに町へ情報を提供いただくもので、より安全・安心で快適に暮らせる生活基盤づくりに繋がることが期待されます。

不

法投棄を発見時の 協定を締結



四月十四日、フローラメモリアルホール桜にて、千塚協議会と株式会社フローラが『災害時避難に関する協定書』を締結しました。

この協定は、同じ地域の法人と住民の絆を目的に、組織地域である沼辺新小谷地区に



日頃から各地区で行われている避難訓練や毎年ご協力頂いている社資募集活動が認められ、日本赤十字社宮城県支部より災害救護車「はくあい号」が配備され、今後は災害発生時の広報活動や物資運搬等の災害救護活動などに役立てられます。

また、毎年皆様にご協力頂いています。その社資は、災害救護活動のほか、外国の災害救護等の国際活動や赤十字病院の医療事業、献血事業等に役立てられています。

千

塚協議会で 災害時の協定を締結

配

「はくあい号」 備完了!災害救護車

交

春の交通事故ゼロを目指して



四月六日から四月十五日までの十日間、春の全国交通安全運動が全国で実施されました。六日の朝には、村田字反町の交差点にて、交通安全人垣作戦として街頭啓発キャンペーンを行いました。

交通安全協会村田支部、交通安全母の会、交通安全指導隊等、関係団体の多くの参加により、交通事故の防止、飲酒運転の根絶等を呼びかけました。

これからも交通事故のない町を目指していきましょう。

農

業経営計画の達成へ！認定書交付



四月一日付で、大沼久夫さん（薄木）、遠藤裕悦郎さん（沼田）が、自らの五年後の農業経営の目標や、その達成に向けた取組等を内容とする農業経営改善計画の認定を受け、認定農業者となりました。また、また、まつりには欠かせない「子ども神輿」は神社の本殿の中で元気な声を響かせ担ぎました。

小林明弘さん（菅生上）が更新の認定を受けました。現在、三十二名（農事組合法人等含む）が「農業のプロフェッショナル」として経営の改善・発展に取り組んでいます。

春

の恒例行事 「奥州の蛇藤まつり」開催



五月十四日、白鳥神社において「春まつり（蛇藤まつり）」が開催されました。当日は、大変残念なことに雨模様でしたが、境内では神樂奉納や日本舞踊奉納が行われました。また、まつりには欠かせない「子ども神輿」は神社の本殿の中でも元気な声を響かせ担ぎました。

蛇藤も、まつり当日に合わせたかのように見頃を迎え、訪れた人を和ませてくれました。





音

楽に合わせて♪ 3B体操と交流活動



四月二十四日、学校休業日に村田児童学級と沼辺児童学級が合同で日本3B体操協会宮城支部の方による3B体操を体験しました。体操は、ボール・ベル・バーラターという道具を使って、音楽に合わせて踊ったり友達と触れ合つたりして楽しむことができました。体を動かした後は、一緒にお弁当も食べ学級交流のいい機会になりました。

元

氣いっぽい！笑顔いっぽい！ 春の子ども村キャンプ



三月二十五日・二十六の一泊二日で、中央公民館を会場に小学生八十二名とジュニア・リーダー十七名が「春の子ども村キャンプ」を行いました。キャンプでは、クイズポイントハイキングや野外炊飯、レクリエーション大会などみんなで協力し合い、助け合いながら、楽しむことができ、キャンプをとおして新しい友達をたくさん作り、普段の生活ではなかなかできない貴重な経験をすることができました。



村田高校では、今年度も生徒たちが「地域のために役立ちたい。人のためになにかをしたい。」という思いから、JRCのボランティア活動として、地域の清掃活動を行っています。活動をとおして、「自分たちの住んでいる町、通学している町をきれいにし、町を知ることができて嬉しい」との思いが生徒たちのボランティア精神の向上につながつていきました。

村

田高校生が ボランティア活動

～健やかで幸せい食卓を～ 体にやさしい健幸レシピ

健康な体づくりに日々の食事は欠かせません。生活習慣病の予防、体力の維持・向上、質の良い睡眠。あらゆるところで食が関わります。

健幸レシピをヒントに健やかな毎日を過ごしましょう。

6月のテーマ 「歯の健康」

桜えびとわかめのチヂミ (2人分)

(A)	(B)	(C)
薄力粉 70g	ゆでそら豆 6粒	
ベーキングパウダー 1g	干し桜えび 大さじ3	
(※なければ入れなくても大丈夫です)	乾燥カットわかめ 大さじ1	
卵 1個	(C)	
水 60ml	ポン酢しょうゆ 適量	
しょうゆ 小さじ1	一味唐辛子 適量	
塩 小さじ1/4	ゴマ油 小さじ4	

作り方

- わかめは水で戻し、水気を絞る。ゆでそら豆は薄皮をとり、1/4くらいに切る。
- Aの材料を混ぜ合わせ、Bの材料を加えて混ぜる。
- フライパンにゴマ油の1/4量を中火で熱して②の半量を流し入れ、両面に焼き色がつくまで焼く。
- フライパンの縁からゴマ油の1/4量を回し入れてパリッとさせる。もう1枚も同様に焼く。
- 食べやすい大きさに切り、混ぜ合わせたCを添える。

～「歯の健康」の一冊メモ～

- 桜えびとわかめには歯をつくる上で欠かせないカルシウムや フッ素が含まれています。
- 桜えびとわかめは噛み応えがあり、よく噛むことで歯を強くすることができます。
- 旬のそら豆は栄養価も高く、歯をつくる上で必要なたんぱく質も多い野菜です。そら豆の代わりにえだ豆をつかってもいいしくできます。

栄養成分 (1人分) : 280キロカロリー、たんぱく質 12.6g、 脂質 10.9g、食塩 2.1g、カルシウム 165mg



[問] 保健センター 83-2312

まちのスポーツ

村田町ミニバスケットボール交流大会

三月十九日、旧村田第三小学校体育館を会場に、平成二十八年度村田町ミニバスケットボール交流大会が開催されました。

この大会には、町内外から八チーム(百十八名)が参加し、最後まで勝負の行方が分からぬ白熱した試合が繰り広げられましたほか、各種レクリエーションも行われました。

結果は、次のとおりです。

【ミニバスケットボール大会】

Aブロック 優勝

寺岡ミニ

Bブロック 優勝

ざとうミニ

バスケットボール同好会
【フリースロー】

第一位

ざとうミニ

バスケットボールクラブ
【3ポイントシュート】

第一位

金ヶ瀬ニュースターズ



善意の寄附

図書を寄贈いただきました

特定非営利活動法人「むらた蔵わらし」より、昨年で第十六回を迎えた陶器市の収益一部の中から、図書の贈呈を行いました。図書をこどもたちの読書活動に利用していただけよう。図書を贈していきました。村田町歴史みらい館へ寄付いたしました。村田町へ支援ありがとうございました。それがどうございました。村田町へ寄付いたしました。

三月二十五日・二十六日に村田町観光物産協会主催の写真展が村田商人やましょ記念館で開催されました。

この写真展は、フォトコンテストに寄せられた四季折々の風景や祭りの様子、名所旧跡など、村田の様々な表情をとらえた作品七十七点（応募者三十二名）が展示され、訪れた人たちは村田の素晴らしさを再発見していました。

また、二十五日には表彰式が行われ、入賞者十五名に賞状や副賞が贈られました。入賞作品は次のとおりです。

（敬称略）

村田の魅力を再発見!!

第二十五回

小京都むらた写真展

金賞



村田町長賞「秋彩の蔵屋敷」山崎 進（大河原町）

銀賞



「匠の技」村上勇一郎（仙台市）
村田町商工会長賞



村田町観光物産協会长賞
「獅子も笑う」齋藤 洋春（柴田町）

銅賞



みやぎ仙南農業協同組合賞
「老舗」中野 好太郎（仙台市）



村田町観光物産協会会长賞
「祭りの後継者たち」
栗林 直昭（仙台市）



村田町観光物産協会会长賞
「くらりんくんの
案内でのひなめぐり」
二瓶 茂（仙台市）

特別賞



(一財) 村田町ふるさと
リフレッシュセンター賞
「そら豆こんなにつめちゃった」
清野 光夫（村田町）



「親子水車」
行成 光春（名取市）



村田町議会議長賞
「ようこそ」
大沼 幸衛（村田町）



スポーツランドSUGO賞
佐藤 勉（岩沼市）

佳作

「愛犬」
鈴木 忠一（村田町）



「村田雛まつり」
千葉 恵（仙台市）



「花見」
山本 正彦（仙台市）



「すてきな陶器市」
佐々木 均（多賀城市）



「奉納神楽」
吉田 広（角田市）

村田町観光物産協会会长賞

ふれあいひろば

「らくがきコーナー」は、黒色のサインペンやボールペンを使って、はっきりと描いてください。（ペンネームだけでなく、住所や氏名、行政区もきちんと書いてね。）「町民文芸」も募集中です。初投稿の方も大歓迎です！※投稿作品が多い場合や投稿内容によっては、総務課で掲載作品を選ばせていただきます。

このページは、町民の皆さんができるページです。 □連絡先/総務課 総務班 ☎83-2111



▲P.N 昔山良代



▲P.N モニャモニャベリー

プレゼントが
もらえるよ

らくがきコーナー

花釣り人はジーパン姿飛花落
谷底の光る水流芽吹山
たくましき息子の背や代搔
ける

田園に蛙遊びて空鏡
待ち侘びて菜園新芽陽
の雫

小林光正

鈴木恵子

花釣り人はジーパン姿飛花落
谷底の光る水流芽吹山
たくましき息子の背や代搔
ける

若者に鉛筆削りなら負け
ません

〔お留守ですか〕と訊き
て返事まつている

タケマロ

月末のプレミアムどす
〔金曜日〕

芳行三

同僚と熱燗残し急ぎ足
後藤信夫

新入生足はえ
ランドセルから手

（町民文芸）

俳句

川柳

天使の笑顔

次号の対象となるのは、平成28年6月、7月生まれのお子さまです。
掲載を希望する場合は、1か月以内に撮影した写真と掲載依頼書を保健センターの「1歳児お誕生相談」の際にお持ちください。直接、役場へ提出される場合は、7月4日(火)までに総務課へお持ちください。

お問合せ 〈自宅での撮影、掲載について〉 総務課 総務班 ☎83-2111
 〈1歳児 お誕生相談について〉 保健センター ☎83-2312



秋保 芽衣ちゃん

(保護者：光信・里美) 小泉東
 ●1歳おめでとう！元気にすくすく育ってね！
 (家族みんなより)



村上 雄星くん

(保護者：大将・綾) 沼田
 ●好奇心旺盛、食欲旺盛、笑顔満点!! 沢山遊んで元気いっぱい大きくな～れ♪ 大好き♡
 (パパ&ママより)



高橋 健誠くん

(保護者：博史・絢香) 本町
 ●誕生日おめでとう♡ 泣き虫で甘えん坊の健ちゃんが大スキだよ♡ 元気一杯大きくな～れ♡
 (パパ・ママより)

天使の笑顔



草川 あかりちゃん
(保護者：直樹・奈美子) 本町
●祝♡1歳♡これからもたくさん食べてたくさん遊んで、元気に育ってね♡
(お父さん・お母さんより)



菱沼 湊音くん
(保護者：朱音) 千塚
●1歳おめでとう！これからも可愛い笑顔たくさんみせて、元気に育ってね♡
(ママより)



一條 めいちゃん
(保護者：優太・沙織) 千塚
●1歳おめでとう。たくさん食べてすくすく育ってね！
(パパ・ママより)



佐藤 鈴ちゃん
(保護者：眞尚・亜耶) 千塚
●1歳おめでとう。元気にすくすく育ってね。
(家族みんなより)



栗田 晴生ちゃん
(保護者：勇次・愛) 足立西
●1歳のお誕生日おめでとう！これからもすくすく元気に育つね♪
(パパとママより)



大槻 柚芽ちゃん
(保護者：透・麻美) 沼辺北
●1歳のお誕生日おめでとう！これからも元気いっぱい育つね♪
(家族みんなより)



熊坂 碧人くん
(保護者：修平・幸恵) 足立西
●1歳おめでとう！これからも元気にすくすく育ってね！
(家族みんなより)



草川 陽愛ちゃん
(保護者：和洋・珠美) 本郷
●あっという間に1歳になったね！これからの成長も楽しみにしてるよ☆
(パパ・ママより)



吉田 想志くん
(保護者：ゆき奈) 小泉中
●一歳お誕生日おめでとう☆これからもモリモリ食べて元気に育つね！！
(みんなより)

お詫びと訂正

4月号に掲載しました「天使の笑顔」記事内に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

【正】相原 瑞々ちゃん (保護者：晋也・留美) 小泉中

むし歯 ゼロの子

4月26日に行われた3歳6か月児健診で、むし歯がゼロだったみんなを紹介します。これからも歯を大切にしようね！

“むし歯ゼロの子”には、むし歯の治療が完了しているお子さんも含みます。むし歯予防も大切ですが、定期的に歯科健診を受け、お口の中の状態を知ることも大切です。むし歯ができてしまったら、早期に治療しましょう。

これからも歯を大切にしようね！



ぬまと ひろと
沼田 大翔くん
(本町)



おおぬま そあら
大沼 蒼愛ちゃん
(小泉西町)



みや こはる
宮城 小春ちゃん
(千塚)



やんべ かなた
山家 叶椰くん
(内町)



たかやま わかな
高山 和可奈ちゃん
(足立東)



むらかみ せいま
村上 聖磨くん
(本郷)



やんべ ちとせ
山家 千歳ちゃん
(荒町)